



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月13日

上場会社名 ブックオフグループホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9278 URL <https://www.bookoffgroup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 康隆
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 河本 宏文 TEL 042-769-1513
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	62,308	4.6	828	△36.1	1,204	△32.0	559	△40.8
2019年3月期第3四半期	59,588	—	1,296	—	1,772	—	945	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 510百万円 (△45.2%) 2019年3月期第3四半期 930百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	32.09	—
2019年3月期第3四半期	47.27	—

(注) 当社は、2018年10月1日に単独株式移転により設立されたため、2019年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	42,731	13,125	30.6
2019年3月期	40,647	13,006	31.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 13,064百万円 2019年3月期 12,844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	15.00	15.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 当社は、2018年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前第2四半期までの実績はありません。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,000	4.0	1,400	△9.7	1,900	△10.4	900	△58.6	51.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2020年2月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）株式会社ジュエリーアセットマネジャーズ、除外 1社（社名）リユースコネクト株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	20,547,413株	2019年3月期	20,547,413株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	3,100,000株	2019年3月期	3,100,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	17,447,413株	2019年3月期3Q	19,995,050株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中における将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当社グループは創業時より「事業活動を通じての社会への貢献」と「全従業員の物心両面の幸福の追求」の2つを経営理念としております。このたび当社グループが2021年3月期に30年目を迎えるにあたって中期経営方針を策定いたしました。この方針の中で改めて経営理念に立ち返り、私たちのミッションとして「多くの人に楽しく豊かな生活を提供する」を掲げました。

このミッションに基づき、拡大するリユース市場の中で私たちの強さを活かし、「本を中核としたリユースのリーディングカンパニー」として、世の中の変化に対応して最も多くのお客様がご利用されるリユースチェーンとなることを目指します。

そのための基本戦略として次の2つを掲げてまいります。

基本戦略Ⅰ：個店を磨く

店舗型とネット型それぞれのリユースサービスを磨き上げることが、最も多くのお客様にご利用いただけるリユースのリーディングカンパニーとなるための出発点と考え、各店舗パッケージ・サービスに応じた磨き込みを行います。

基本戦略Ⅱ：総力戦で取り組む

これまでの当社グループは店舗と店舗以外の事業がそれぞれ個別にサービスを提供していましたが、今後は会員制度や販売・買取のプラットフォーム、それらを支えるシステム等を統合し共通化してまいります。そして、各サービスで蓄積された会員・商品情報、運営ノウハウ等の資産を全てのサービスで活用いたします。これらを実現するのが「ひとつのBOOKOFF」構想です。

このような経営方針の下、当第3四半期連結累計期間に各店の地域特性に応じた取扱い商材の追加を推進するとともに、「BOOKOFF SUPER BAZAAR」を5店舗（5号札幌宮の沢店、イトーヨーカドー流山店、水戸姫子店、アグロガーデン神戸駒ヶ林店、25号八尾永畑店）、「BOOKOFF」単独店を1店舗、「BOOKOFF 総合買取窓口」を3店舗、マレーシアでの「Jalan Jalan Japan」を2店舗出店、「BOOKOFF」単独店から「BOOKOFF PLUS」へのリニューアルを1店舗実施、物流倉庫内業務の効率化推進等に取り組みました。また、「ひとつのBOOKOFF」構想を実現するべく、アプリ会員向けのサービス施策の充実や電子買取システムのフランチャイズ加盟店向け展開のほか、ECサイト「BOOKOFF Online」を活用したオムニチャネル化並びに020戦略を推進するべく、積極的な投資を行いました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高62,308百万円（前年同四半期比4.6%増）、営業利益828百万円（前年同四半期比36.1%減）、経常利益1,204百万円（前年同四半期比32.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益559百万円（前年同四半期比40.8%減）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社グループの報告セグメントを単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産残高は24,482百万円(前連結会計年度末は23,765百万円)となり、717百万円増加しました。現金及び預金が244百万円減少、その他流動資産が322百万円減少した一方で、商品が907百万円増加、売掛金が371百万円増加したことが主な要因です。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産残高は18,248百万円(前連結会計年度末は16,882百万円)となり、1,366百万円増加しました。有形固定資産が475百万円、無形固定資産が819百万円増加、投資その他の資産が71百万円増加したことが主な要因です。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債残高は29,605百万円(前連結会計年度末は27,640百万円)となり、1,965百万円増加しました。借入金が1,986百万円増加したこと等が主な要因です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産残高は13,125百万円(前連結会計年度末は13,006百万円)となり、119百万円増加しました。親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方で、剰余金の配当を実施したこと等が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきまして、2019年5月10日に発表しました公表数値を修正しました。詳細につきましては、2020年2月13日に発表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,142	5,898
売掛金	1,590	1,961
商品	12,915	13,823
その他	3,122	2,799
貸倒引当金	△6	△0
流動資産合計	23,765	24,482
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,770	4,186
リース資産(純額)	1,352	1,440
その他(純額)	810	781
有形固定資産合計	5,932	6,408
無形固定資産		
のれん	84	823
その他	1,120	1,200
無形固定資産合計	1,204	2,024
投資その他の資産		
差入保証金	7,530	7,604
その他	2,274	2,272
貸倒引当金	△60	△60
投資その他の資産合計	9,744	9,816
固定資産合計	16,882	18,248
資産合計	40,647	42,731

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	431	591
短期借入金	5,926	8,320
1年内返済予定の長期借入金	3,716	3,489
リース債務	348	402
未払法人税等	135	194
売上割戻引当金	546	526
店舗等閉鎖損失引当金	44	52
その他の引当金	469	186
その他	4,899	4,784
流動負債合計	16,518	18,548
固定負債		
長期借入金	7,775	7,595
店舗等閉鎖損失引当金	29	14
資産除去債務	1,747	1,846
リース債務	1,159	1,183
その他	410	418
固定負債合計	11,121	11,057
負債合計	27,640	29,605
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	6,489	6,485
利益剰余金	8,571	8,870
自己株式	△2,343	△2,343
株主資本合計	12,817	13,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	158	113
為替換算調整勘定	△131	△160
その他の包括利益累計額合計	27	△47
非支配株主持分	161	61
純資産合計	13,006	13,125
負債純資産合計	40,647	42,731

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	59,588	62,308
売上原価	23,907	24,506
売上総利益	35,681	37,801
販売費及び一般管理費	34,384	36,972
営業利益	1,296	828
営業外収益		
持分法による投資利益	—	15
設備賃貸収入	217	249
自動販売機等設置料収入	109	100
古紙等リサイクル収入	268	261
その他	236	114
営業外収益合計	832	740
営業外費用		
支払利息	117	119
持分法による投資損失	4	—
設備賃貸原価	202	230
その他	31	15
営業外費用合計	356	365
経常利益	1,772	1,204
特別利益		
固定資産売却益	60	—
店舗譲渡益	26	—
特別利益合計	87	—
特別損失		
店舗等閉鎖損失	39	46
店舗等閉鎖損失引当金繰入額	48	27
固定資産除却損	43	117
減損損失	33	30
災害による損失	14	28
その他	3	—
特別損失合計	181	250
税金等調整前四半期純利益	1,678	954
法人税、住民税及び事業税	460	247
法人税等調整額	259	119
法人税等合計	719	366
四半期純利益	958	587
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	27
親会社株主に帰属する四半期純利益	945	559

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）
四半期純利益	958	587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	8
為替換算調整勘定	2	△31
持分法適用会社に対する持分相当額	10	△53
その他の包括利益合計	△27	△76
四半期包括利益	930	510
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	918	484
非支配株主に係る四半期包括利益	12	25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

「II 当第3四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「リユース店舗事業」「ブックオフオンライン事業」の2区分から単一セグメントに変更しております。この変更は、「ひとつのBOOKOFF」構想のもと、ネット販売システムの導入でリアル店舗販売とオンライン販売の融合が進捗したため、セグメントを統合することが、より取引実態に即した経営成績を表示すると判断したことによるものであります。

この変更により、当社グループは単一セグメントとなることから、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。